

# PHILIPS

Business  
Monitor

5000 Series



24B2D5300

JP

ユーザーマニュアル

Register your product and get support at [www.philips.com/welcome](http://www.philips.com/welcome)

# 目次

1. 重要 .....	1
1.1 安全上の注意およびメンテナン ス .....	1
1.2 表記の説明 .....	3
1.3 製品および包装材の廃棄につい て .....	4
2. モニターの設定 .....	5
2.1 設置 .....	5
2.2 モニターの操作 .....	7
2.3 デュアルビュー .....	10
2.4 SmartView .....	11
2.5 マルチビュー .....	12
3. 画像最適化 .....	14
3.1 SmartImage .....	14
3.2 SmartContrast .....	15
4. コンピューター視覚症候群 (CVS) を 予防するための設計 .....	16
5. アダプティブシンク .....	17
6. 技術仕様 .....	18
6.1 解像度およびプリセットモード ..	21
7. 電源管理 .....	22
8. カスタマーケアおよび保証 .....	23
8.1 フィリップス フラットパネルディス プレイ画素欠陥ポリシー .....	23
8.2 カスタマーケアおよび保証 .....	26
9. トラブルシューティング & FAQ ..	27
9.1 トラブルシューティング .....	27
9.2 よくあるご質問 (FAQ) .....	28
9.3 マルチビューに関するよくあるご質 問 .....	31

# 1. 重要

本電子ユーザーガイドは、Philips モニターをご使用になるすべての方を対象としています。モニターをご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。モニターの操作に関する重要な情報および注意事項が記載されています。

本製品が本来の用途に従って使用され、本取扱説明書に記載された操作方法に従って取り扱われ、かつ購入日、販売店名、製品の型式および製造番号が記載された原本の領収書またはレシートが提示される場合に限り、フィリップスの保証が適用されます。

## 1.1 安全上の注意およびメンテナンス

### ⚠ 警告

本書で指定されていない操作、調整、または手順を使用した場合、感電、電氣的危険、および／または機械的危険にさらされるおそれがあります。

モニターを接続および使用する際は、以下の指示をよく読み、それに従ってください。

イヤホンおよびヘッドホンから出る過大な音圧は、聴力を損なうおそれがあります。イコライザーを最大出力に調整すると、イヤホンおよびヘッドホンの出力電圧が増加し、結果として音圧レベルが上昇します。

### 操作

- モニターを直射日光の当たる場所に置かないでください。このような環境に長時間さらされると、変色やモニターの損傷を引き起こすおそれがあります。
- ディスプレイを油から離してください。油はディスプレイのプラスチックカバーを損傷し、保証が無効になるおそれがあります。
- 通気孔に落ち込むおそれのあるものや、モニター内部の電子部品の適切な冷却を妨げるものは取り除いてください。

- 本体の通気孔を塞がないでください。
- モニターを設置する際は、電源プラグおよびコンセントに容易にアクセスできるようにしてください。
- 電源ケーブルまたはDC電源コードを抜いてモニターの電源を切る場合は、通常の操作に戻る前に、電源ケーブルまたはDC電源コードを再接続してから6秒間お待ちください。
- 必ずフィリップス純正の認定電源コードをご使用ください。電源コードが紛失した場合は、最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。(詳細は『重要情報マニュアル』に記載されているサービス連絡先をご参照ください。)
- 定格電源仕様のもとで使用してください。誤った電圧を使用すると、機器が故障し、火災や感電のおそれがあります。
- ケーブルを保護してください。電源ケーブルおよび信号ケーブルを引っ張ったり曲げたりしないでください。また、モニターやその他の重いものをケーブルの上に置かないでください。ケーブルが損傷した場合、火災や感電のおそれがあります。
- モニターを動作中に強い振動や衝撃を与えないでください。
- パネル剥離などの画面損傷を防ぐため、モニターの傾斜角度が-5度より下方に傾かないようにしてください。-5度を超過して下方に傾斜させた場合、モニターの損傷は保証の対象外となります。
- モニターを動作中および／または輸送中に叩いたり落としたりしないでください。
- USB Type-Cポートは、IEC 62368-1またはIEC 60950-1に準拠した防火エンクロージャを備えた指定機器にのみ接続してください。
- モニターを長時間使用すると目の不快感を引き起こすことがあります。長時間の休憩をあまり取らないよりも、短い休憩をより頻繁に取ることをお勧めします。例

例えば、50～60分間連続して画面を使用した後に5～10分間の休憩を取る方が、2時間ごとと15分間の休憩を取るよりも効果的です。長時間画面を見続ける際の眼精疲労を防ぐために、次のようにしてください：

- 長時間画面に集中した後は、さまざまな距離にあるものを見るようにしてください。
- 作業中は意識的にまばたきをしてください。
- 目をやさしく閉じて眼球を回すことで、リラックスできます。
- 画面を適切な高さや角度に調整してください。
- 明るさとコントラストを適切なレベルに調整してください。
- 周囲の照明を画面の明るさに近いレベルに調整してください。蛍光灯や反射の強い表面は避けてください。
- 症状が悪化した場合は、医師の診察を受けてください。

## メンテナンス

- モニターを損傷から守るため、液晶パネルに過度の圧力をかけないでください。モニターを移動する際は、フレームを持って持ち上げてください。液晶パネルに手や指を置いて持ち上げないでください。
- 油性の洗浄液はプラスチック部品を損傷し、保証が無効となるおそれがあります。
- 長期間使用しない場合は、モニターの電源プラグを抜いてください。
- やや湿らせた布で清掃する場合は、モニターの電源プラグを抜いてください。電源を切った状態であれば、乾いた柔らかい布で画面を拭くことができます。ただし、アルコールやアンモニアを含む有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- 感電または製品の永久的な損傷のリスクを回避するため、モニターをほこり、雨、水、または過度の湿気にさらさないでください。

- モニターが濡れた場合は、できるだけ早く乾いた柔らかい布で拭いてください。
- 異物や水がモニター内部に入った場合は、直ちに電源を切り、電源コードを抜いてください。その後、異常が認められる場合は、メンテナンスセンターへご送付ください。
- モニターを熱源、直射日光、または極端な低温にさらされる場所に保管・使用しないでください。
- モニターの最適な性能を維持し、長期間ご使用いただくためには、以下の温度および湿度範囲内となる場所でご使用ください。
  - 温度：0°C～40°C (32°F～104°F)
  - 湿度：20%～80% RH

焼き付き／ゴースト画像に関する重要なお知らせ

- モニターから離れる際は、必ず動くスクリーンセーバーを起動してください。静止した静的コンテンツを長時間表示する場合は、必ず定期的に画面をリフレッシュするアプリケーションを起動してください。静止画や静的な画像を長時間連続して表示すると、画面に「焼き付き」（残像やゴースト画像とも呼ばれます）が発生することがあります。
- 「バーンイン」、「アフターアイミング」、または「ゴーストイメージ」は、LCDパネル技術においてよく知られた現象です。ほとんどの場合、電源を切った後、一定時間経過すると、「バーンイン」、「アフターアイミング」、または「ゴーストイメージ」は徐々に消失します。

### 警告

スクリーンセーバーまたは定期的な画面リフレッシュアプリケーションを有効にしないと、消えない深刻な「バーンイン」「アフターアイム」または「ゴーストイメージ」が発生し、修復できなくなるおそれがあります。上記の損傷は保証の対象外です。

## サービス

- 筐体カバーを開ける場合は、必ず資格を持ったサービス担当者に行ってください。
- 修理や統合に関する書類が必要な場合は、お近くのサービスセンターまでご連絡ください。(重要な情報マニュアルに記載されているサービス連絡先をご参照ください。)
- 輸送に関する情報については、「技術仕様」をご参照ください。
- 直射日光の当たる車内にモニターを放置しないでください。

## ⓘ 注意

モニターが正常に動作しない場合、または本マニュアルに記載された操作手順についてどのような対応を取るべきかご不明な場合は、サービス技術者にご相談ください。

この機器は、お子様がいる可能性のある場所での使用には適していません。

## 1.2 表記の説明

以下の小項目では、本書で使用されている表記規則について説明します。

### 注意事項、警告、および危険表示

本書では、テキストの一部にアイコンが付き、太字または斜体で印刷されることがあります。これらのテキストブロックには、注意事項、警告、および危険表示が含まれています。

これらは次のように使用されます。

## ⓘ 注

このアイコンは、コンピューターシステムをより効果的にご使用いただくための重要な情報やヒントを示しています。

## ⚠ 注意

このアイコンは、ハードウェアの損傷やデータの損失を回避するための情報を示しています。

## ⚠ 警告

このアイコンは、身体への危害の可能性を示しており、その問題を回避する方法を示しています。

一部の警告は代替フォーマットで表示され、アイコンが付かない場合があります。このような場合、警告の具体的な表示形式は関連する規制機関の要件に基づいて定められています。

### 1.3 製品および包装材の廃棄について

---

使用済み電気電子機器 (WEEE)



This marking on the product or its packaging illustrates that, under European Directive 2012/19/EU governing used electrical and electronic appliances, this product may not be disposed with normal household waste. You are responsible for the disposal of this equipment through a designated waste electrical and electronic equipment collection. To determine the locations for dropping off such waste, contact your local government office, the waste disposal organization that serves your household, or the store at which you purchased the product.

Your new monitor contains materials that can be recycled and reused. Specialized companies can recycle your product to increase the number of reusable materials and minimize the amount to be disposed of.

All redundant packing material has been omitted. We have done our utmost to make the packaging easily separable into mono materials.

Please find out about the local regulations on how to dispose of your old monitor and packing from your sales representative.

### Taking back/Recycling Information for Customers

Philips establishes technically and economically viable objectives to optimize the environmental performance of the organization's products, services, and activities.

From the planning, design, and production stages, Philips emphasizes the importance of making products that can easily be recycled. At Philips, end-of-life management primarily entails participation in national take-back initiatives and recycling programs whenever possible, preferably in cooperation with competitors, which recycle all materials (products and related packaging material) following all Environmental Laws and taking back programs with the contractor company.

Your display is manufactured with high-quality materials and components which can be recycled and reused.

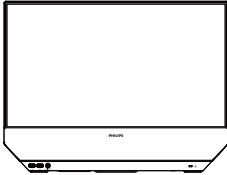
To learn more about our recycling program please visit:

<http://www.philips.com/a-w/about/sustainability.html>

## 2. モニターの設定

### 2.1 設置

#### 1 パッケージ内容



AC/DC Adapter



\*HDMI



\*USB C-C



\*USB C-C/A



\*USB C-A

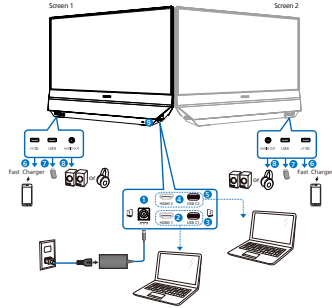


\*Audio cable

\* 地域によって異なります。

Philips FSP230-AJAN3-T モデルの AC/DC アダプターのみをご使用ください。

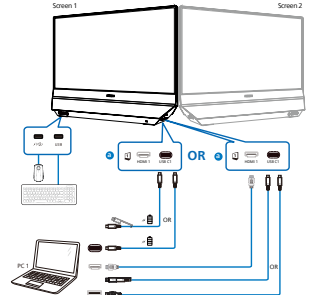
#### 2 PCに接続



USB C-C



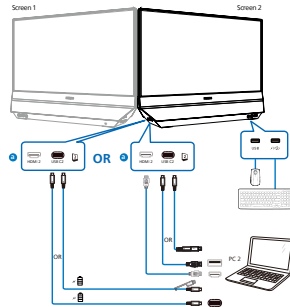
USB hub (USB A-C)



USB C-C



USB hub (USB A-C)



- 1 AC/DC電源入力
- 2 HDMI1 input
- 3 USB C1
- 4 HDMI2 input
- 5 USB C2

- ⑥ USB下流ポート/USB高速充電
- ⑦ USB下流ポート
- ⑧ AUDIO OUT
- ⑨ Kensington 盗難防止ロック

PCに接続

1. 電源コードをディスプレイ背面に確実に接続してください。
2. コンピューターの電源を切り、電源コードを抜いてください。
3. モニターの信号ケーブルを、コンピューター背面のビデオコネクタに接続してください。
4. コンピューターおよびモニターの電源コードを、近くのコンセントに差し込んでください。
5. コンピューターとモニターの電源を入れてください。モニターに画像が表示されれば、設置は完了です。

### 3 USB ハブ

国際的な省エネルギー基準に準拠するため、本モニターのUSBハブ/ポートはスタンバイモードおよび電源オフ時に無効になります。

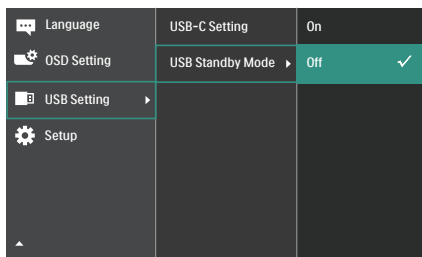
この状態では、接続されたUSB機器は動作しません。

USB機能を常に「ON」状態にするには、OSDメニューを開き、「USBスタンバイモード」を選択して「ON」に切り替えてください。万一モニターが工場出荷時の設定にリセットされた場合は、OSDメニューで再度「USBスタンバイモード」を「ON」に設定してください。

### 4 USB 充電

本ディスプレイには標準的な電力出力に対応したUSBポートが搭載されており、その一部にはUSB充電機能付きのポート（電源アイコンで識別可能）も含まれています。たとえば、スマートフォンの充電や外付けHDDの給電などにご利用いただけます。この機能を使用するには、ディスプレイの電源を常にONにしておく必要があります。

一部のPhilipsディスプレイでは、モニターが「スリープ/スタンバイ」モード（電源LEDが白色で点滅）に入った際に、接続デバイスへの電源供給または充電が行われない場合があります。その場合は、OSDメニューを開き、「USBスタンバイモード」を「ON」（初期設定はOFF）に設定してください。これにより、モニターがスリープ/スタンバイモード中でもUSBポートからの電源供給および充電機能が維持されます。



### 注

モニターの電源スイッチを切ると、すべてのUSBポートの電源も同時に切れます。

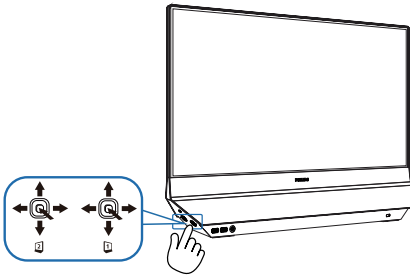
### 警告

ワイヤレスマウス、キーボード、ヘッドホンなどのUSB 2.4GHz無線デバイスは、USB 3.2以降のバージョンのデバイスにおける無線通信の効率を低下させる可能性があります。このような現象が発生した場合は、以下の対策をお試しください。

- USB 2.0レーザーを、USB 3.2以降のバージョンの接続ポートから離して設置してください。
- 標準的なUSB延長ケーブルまたはUSBハブを使用して、ワイヤレスレーザーとUSB 3.2以降のバージョンの接続ポートとの距離を離してください。

## 2.2 モニターの操作

### 1 コントロールボタンの説明



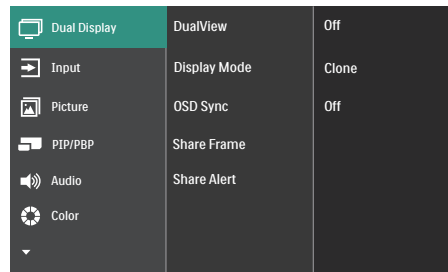
### 画面 2

1		電源を入れるには押してください。電源を切るには3秒以上押し続けてください。
2		OSD メニューを表示します。 OSD の調整を確定します。
3		明るさを調整します。 OSD メニューを調整します。
4		信号入力を切り替えます ソース。 OSD メニューを調整します。
5		SmartImage ゲームメニュー。 複数の選択肢があります： EasyRead、Office、Photo、 Movie、Game、Economy、 D-Mode、オフ。 前の OSD レベルに戻ります。

### 2 オンスクリーンディスプレイ (OSD) の説明

オンスクリーンディスプレイ (OSD) とは何ですか？

オンスクリーンディスプレイ (OSD) は、すべての Philips 液晶モニターに搭載されている機能です。これにより、エンドユーザーは画面上の指示ウィンドウを通じて、モニターの画面性能を直接調整したり、モニターの機能を選択したりできます。以下にユーザーフレンドリーな OSD インターフェースを示します。



コントロールキーの基本的かつ簡単な操作方法

上記の OSD では、モニター前面ベゼルにある▼▲ボタンを押してカーソルを移動し、OK ボタンを押して選択を確定するか設定を変更してください。

#### OSD メニュー

以下はオンスクリーンディスプレイ (OSD) の全体的な構造を示したものです。後ほど各種調整を行う際の参考としてご使用ください。

Main menu	Sub menu	
Dual Display	DualView	On, Off
	Display Mode	Clone, Extend
	OSD Sync	On, Off
	Share Frame	Red, Green, Blue, White, Off
	Share Alert	On, Off
Input	HDMI	
	USB C	
Picture	Auto	On, Off
	SmartImage	EasyRead, Office, Photo, Movie, Game, Economy, D-Mode, Off
	Adaptive Sync	On, Off
	Picture Format	Wide screen, 4:3, 1:1
	Brightness	0-100
	Contrast	0-100
	Sharpness	0-100
	SmartResponse	Off, Fast, Faster, Fastest
	SmartContrast	On, Off
	Gamma	1.8, 2.0, 2.2, 2.4, 2.6
	Pixel Orbiting	On, Off
PIP/PBP	Over Scan	On, Off
	SmartView	On, Off
	PIP/PBP Mode	Off, PIP, PBP
	PIP/PBP Input	HDMI, USB C
	PIP Size	Small, Middle, Large
PIP/PBP	PIP Position	Top-Right, Top-Left, Bottom-Right, Bottom-Left
	Swap	
Audio	Volume	0-100
	Mute	On, Off
	Speaker Control	On, Off, Auto
	Audio Source	HDMI, USB C
Color	Color Temperature	Native, 5000K, 6500K, 7500K, 8200K, 9300K, 11500K
	sRGB	
	User Define	Red: 0-100 Green: 0-100 Blue: 0-100
Language		English, Deutsch, Español, (Ελληνικά), Français, Italiano, Magyar, Nederlands, Português, Português do Brasil, Polski, Русский, Svenska, Suomi, Türkçe, Čeština, Українська, 繁體中文, 繁體中文, 简体中文, 日本語, 台語
OSD Setting	Horizontal	0-100
	Vertical	0-100
	Transparency	Off, 1, 2, 3, 4
	OSD Time out	5s, 10s, 20s, 30s, 60s
USB Setting	USB-C Setting	High Data Speed, High Resolution
	USB Standby Mode	On, Off
Setup	Power LED	0, 1, 2, 3, 4
	Resolution Notification	On, Off
	Firmware Upgrade	Yes, No
	Reset	Yes, No
	Information	

## 注

OSD メニュー内のファームウェアアップグレードオプションは、OTG と併用する場合にのみ適用されます。

## 3 解像度通知

このモニターは、ネイティブ解像度 1920x1080 で最適なパフォーマンスを発揮するように設計されています。

モニターが異なる解像度で電源投入された場合、次のような警告が画面に表示されます：「最高の結果を得るには 1920x1080 をご使用ください。」

ネイティブ解像度の警告表示は、OSD (オンスクリーンディスプレイ) メニューの「セットアップ」からオフにできます。

## 注

1. このモニターの USB-C 入力における USB ハブのデフォルト設定は「High Data Speed」です。サポートされる最大解像度はお使いのグラフィックカードの能力に依存します。お使いの PC が HBR 3 をサポートしていない場合は USB 設定で High Resolution を選択してください。これにより、サポートされる最大解像度は 1920x1080 @120 Hz となります。 ボタンを押して > USB 設定 > USB > High Resolution。

## 4 ファームウェア

ファームウェアの更新方法は 2 種類あります。

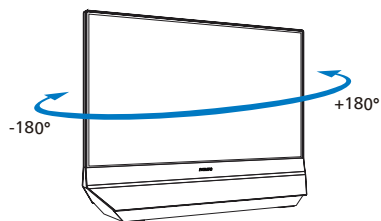
1. OTA (Over-the-air) OTA (Over-the-air) によるファームウェア更新は、SmartControl ソフトウェアを通じて行います。このソフトウェアは Philips のウェブサイトから簡単にダウンロードできます。SmartControl とはどのようなソフトウェアですか? これはモニターの画質、音声、およびその他のオンスクリーン表示設定を制御するための追加ソフトウェアです。「セットアップ」セクションで、現在お使いのファームウェアのバージョンを確認し、アップグレードが必要かどうかをご確認いただけます。また、ファームウェアのアップグレードは SmartControl ソフトウェアを通じて行う必要があることにご注意ください。SmartControl を使用して OTA (Over-the-air) でファームウェアを更新する際には、ネットワークに接続されている必要があります。

2. OTG (On-the-go)

このモニターには OTG 機能があり、USB メモリースティックを介して直接ファームウェアを更新できます。更新を実施する前に、関連情報および更新に関するサポートを受けるため、現地のカスタマーサービスにお問い合わせください。

## 5 物理的機能

### スイベル



### ⚠ 警告

- パネル剥離などの画面損傷を防ぐため、モニターの傾斜角度が-5度より下に傾かないようにしてください。
- モニターの角度を調整する際は、画面を押さずにベゼル部分のみを持って操作してください。

## 2.3 デュアルビュー

### 1 これは何ですか？

デュアルビューはこの両面ディスプレイ専用設計されており、モニターの両側の画面を効果的に活用できます。デュアルビューを有効にするには、OSD メニューでデュアルビューをオン(初期設定:オフ)に設定してください。デュアルビューが有効になると、表示モードのオプションが利用可能になり、クローンまたは拡張のいずれかを選択できます。

### 2 なぜ必要なのですか？

デュアルビューは、モニターの両側に表示を拡張またはクローンできる機能です。前面と背面の画面は、独立して動作することも、リンクして連携することも可能です。リンク時は両画面が同期され、この両面モニターは、片方がデバイスを操作し、もう片方が反対側から閲覧または対話するような顧客対応や共同作業のシナリオに最適です。別々のモニターを2台用意することなく、表示を簡単にクローンまたは拡張できます。モニターの両面を操作・制御するには、デュアルビューをスマートビューと併用する必要があります。スマートビューを使用すると、反対側の画面からの操作が可能になります。スマートビューの詳細については、2.4項をご参照ください。

### 3 これはどのように動作しますか？

デュアルサイドモニターの初期設定(デュアルビュー初期設定:オフ)では、両方の画面が独立したディスプレイとして機能します。

デュアルビューがオフの状態では、モニターは2つの独立したディスプレイとして機能します。各画面はそれぞれ独自の入力ソースに対応しており—画面1には入力1、画面2には入力2—前面と背面の画面を別々に使用できます。

前面および背面画面の同期(デュアルビュー:オン)

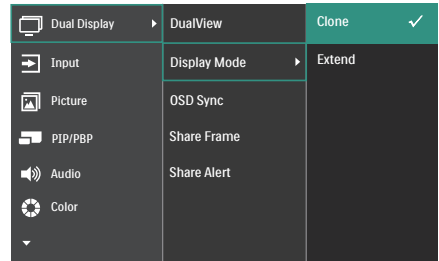
設定手順に従ってください。

1. オンスクリーンディスプレイ(OSD)メニューを開いてください。
2. デュアルビューに移動し、オンを選択してください。これにより、両方の画面がリンクされます。

3. 初期設定では、両方の画面がクローンモード(表示モード:クローン)に設定されています。ディスプレイを拡張するには、表示モードに移動し、クローンからエクステン드에切り替えてください。選択したモードは即座に適用されます。

DualViewを有効にする:オン

表示モード:クローン/拡張(初期設定:クローン)



### 注

- 単一の入力ソースまたは2つの入力ソースのいずれの場合でも、DualViewを最初に有効にした画面が主画面になります。
- DualViewは、両方の画面が電源オンの状態でのみ有効化できます。拡張モードはUSB-C接続時のみご利用いただけます。
- 画面1からDualViewをオンにすると、画面2の一部の設定(Dual Display、入力、音声、PxPなど)は無効になります。

## 2.4 SmartView

### 1 これは何ですか？

SmartViewは、対応ポートが接続されている場合に、1台のモニター上で2つの画面を同時に表示できる機能です。SmartViewをオン（初期設定：オフ）にするには、OSDメニューで該当項目をオンにしてください。

### 2 なぜ必要なのですか？

分割画面機能により、ユーザーは複数の情報を同時に表示できます（ピクチャー・バイ・ピクチャー）。使用目的や状況に応じて、表示する画面を切り替えてご利用いただけます。この機能はUSB Type-CまたはDisplayPort入力でのみご利用いただけます。

### 3 これはどのように動作しますか？

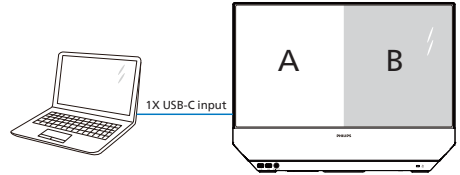
まず、OSDメニューでSmartView機能をオンに設定してください（初期設定：オフ）。デュアル面モニターは、DualViewおよびSmartViewの3種類の構成をサポートしています。これらの機能を有効または無効にすることで、お客様は使用状況や個人の好みに最も適した接続タイプを選択できます。

- SmartViewを有効にする：オン

Dual Display	SmartView	On ✓
Input	PIP / PBP Mode	Off
Picture	PIP / PBP Input	
PIP/PBP	PIP Size	
Audio	PIP Position	
Color	Swap	

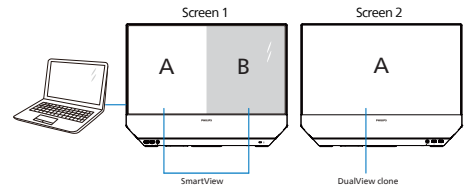
### 1. SmartView: オン

DualView: オフ（スクリーン1で2つのソースが動作し、他のスクリーンは別のソースを使用しない限りオフになります）。



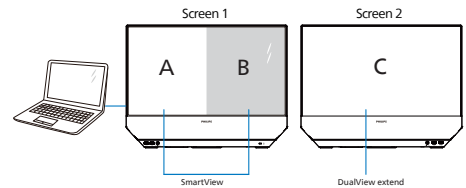
### 2. SmartView: オン

DualView: オン（初期設定：クローンモード）



### 3. SmartView: オン

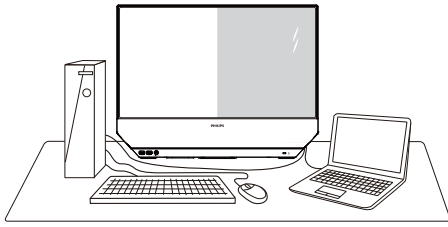
DualView: オン（エクステンドモード）



### 注

- SmartViewはUSB-C入力を使用している場合にのみご利用いただけます。
- SmartViewとPIP/PBPは同時に使用できません。
- DualViewが有効になっている場合、SmartViewはDualViewが有効になっているスクリーンでのみご利用いただけます。もう一方のスクリーンのオプションはグレーアウトされます。

## 2.5 マルチビュー



### 1 これは何ですか？

マルチビュー機能により、PCやノートブックなど複数のデバイスを同時に接続・表示できるため、複雑なマルチタスク作業が容易になります。

### 2 なぜ必要なのですか？

超高解像度を備えたPhilipsマルチビューディスプレイを使えば、オフィスでも自宅でも快適に多彩な接続体験をお楽しみいただけます。このディスプレイでは、1つの画面で複数のコンテンツソースを簡単にご利用いただけます。たとえば、小さなウィンドウで音声付きのライブニュース映像を確認しながら最新のブログを作成したり、ウルトラブックでExcelファイルを編集しながら、セキュアな社内イントラネットにログインしてデスクトップからファイルにアクセスしたりできます。

### 3 OSDメニューでマルチビューを有効にする方法は？

Dual Display	SmartView	Off
Input	PIP / PBP Mode	Off
Picture	PIP / PBP Input	USB C
PIP/PBP	PIP Size	Small
Audio	PIP Position	Top-Right
Color	Swap	

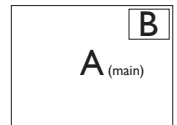
1. 右にトグルしてOSDメニュー画面を開いてください。
2. 上下にトグルしてメインメニュー [PIP/PBP] を選択し、右にトグルして決定してください。
3. 上下にトグルして [PIP/PBPモード] を選択し、右にトグルしてください。
4. [PIP] または [PBP] を選択するには上下にトグルし、選択を確定するには右にトグルしてください。
5. これで、[PIP / PBP 入力]、[PIP サイズ]、[PIP 位置]、または [スワップ] を設定するために戻ることができます。

### 4 OSDメニュー内のマルチビュー

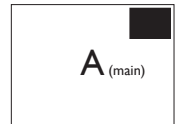
- PIP / PBP モード: マルチビューには [PIP] および [PBP] の2つのモードがあります。

[PIP]: ピクチャー・イン・ピクチャー

別の信号ソースのサブウィンドウを開きます。

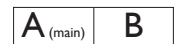


サブソースが検出されない場合：



[PBP]: ピクチャー・バイ・ピクチャー

別の信号ソースのサブウィンドウを横並びで開きます。



サブソースが検出されない場合：



注

PBP モードでは、正しいアスペクト比を測定するために画面の上下に黒い帯が表示されます。フルスクリーン表示をご希望の場合は、接続機器の解像度をポップアップ注意解像度に調整してください。これにより、2 台の機器のソース画面がこのディスプレイに黒帯なしで表示されます。なお、アナログ信号は PIP モードでフルスクリーン表示に対応していませんのでご注意ください。

- PIP/PBP 入力: サブディスプレイのソースとして、次のビデオ入力から選択できます。[HDMI 1]、[HDMI 2]、[USB C 1]、および[USB C 2]。

メイン/サブ入力ソースの互換性については、以下の表をご参照ください。

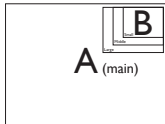
画面1

MultiView		サブソースの可能性 (xl)	
		入力	
メインソース (xl)	HDMI 1		●
	USB C 1	●	

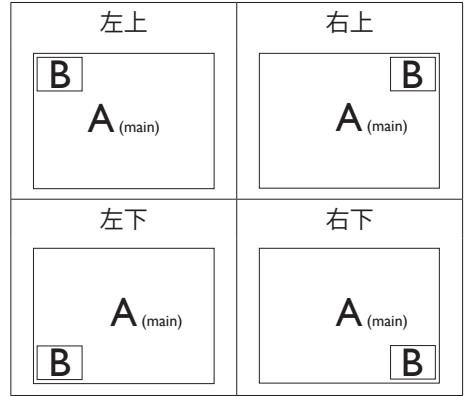
画面2

MultiView		サブソースの可能性 (xl)	
		入力	
メインソース (xl)	HDMI 2		●
	USB C 2	●	

- PIP サイズ: PIPが有効になっている場合、サブウィンドウのサイズは次の3種類から選択できます。[小]、[中]、[大]。

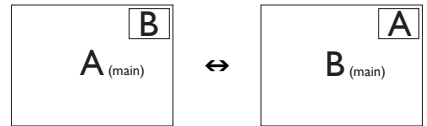


- PIP 位置: PIPが有効になっている場合、サブウィンドウの位置は次の4か所から選択できます。

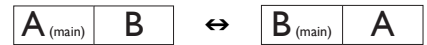


スワップ: メイン映像ソースとサブ映像ソースがディスプレイ上で入れ替わります。

[PIP] モードで A ソースと B ソースを入れ替える:



[PBP] モードで A ソースと B ソースを入れ替える:



- オフ: マルチビュー機能を停止します。



注

SWAP 機能を有効にすると、映像とその音声ソースが同時に切り替わります。

## 3. 画像最適化

### 3.1 SmartImage

#### 1 これは何ですか？

SmartImage は、コンテンツの種類に応じてディスプレイを最適化するプリセットを提供し、明るさ、コントラスト、色、およびシャープネスをリアルタイムで動的に調整します。テキストアプリケーションを使用しているとき、画像を表示しているとき、あるいは動画を視聴しているときでも、Philips SmartImage が優れたモニター性能を実現します。

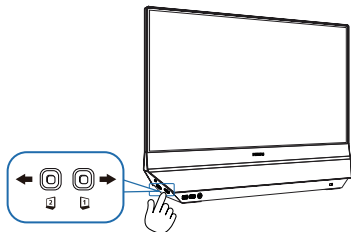
#### 2 なぜ必要なのですか？

お気に入りのさまざまなコンテンツを最適に表示できるモニターを持つことが理想的です。当社の SmartImage ソフトウェアは、明るさ、コントラスト、色、およびシャープネスをリアルタイムで動的に調整し、モニターでの視聴体験を向上させます。

#### 3 これはどのように機能しますか？

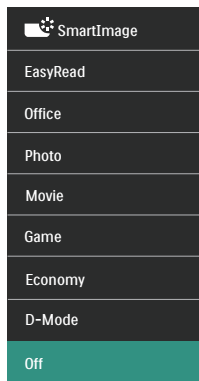
SmartImage は、フィリップス独自の先進技術であり、お客様の画面に表示されているコンテンツをリアルタイムで分析します。選択されたシナリオに基づき、SmartImage は画像のコントラスト、色飽和度、およびシャープネスを動的に最適化し、表示コンテンツを強調します。この機能はボタン一つで即座に有効になります。

#### 4 SmartImage を有効にする方法



1. 前面に切り替えて、SmartImageのオンスクリーンディスプレイを起動してください。
2. 上または下に切り替えて、SmartImageモードを選択してください。
3. SmartImageのオンスクリーンディスプレイは8秒間表示された後、自動的に消えますが、左に切り替えることで確認することもできます。

選択可能なモードは次のとおりです：  
EasyRead、Office、Photo、Movie、Game、Economy、D-Mode、Off。



- EasyRead: PDF電子書籍などのテキストベースのアプリケーションの読みやすさを向上させます。テキストコンテンツのコントラストと輪郭の鮮明さを高める特殊なアルゴリズムにより、モニターの輝度、コントラスト、および色温度を調整し、ストレスの少ない読書環境を実現します。
- オフィス: テキストを強調し、明るさを抑えることで読みやすさを高め、目の疲れを軽減します。このモードは、スプレッドシート、PDFファイル、スキャンした記事、その他の一般的なオフィスアプリケーションを使用する際の読みやすさと生産性を大幅に向上させます。
- フォト: このプロファイルは、色飽和度、ダイナミックコントラスト、およびシャープネスの強調を組み合わせることで、アーチファクトや色あせのない鮮やかな色彩で

写真やその他の画像を卓越した鮮明さで表示します。

- **ムービー:**輝度を高め、色飽和度を深め、ダイナミックコントラストと極めて高いシヤープネスにより、動画の暗部の細部まで色のウォッシュアウトを起こすことなく再現します。
- **ゲーム:**オーバードライブ回路をオンにして応答速度を最適化し、画面内の高速で移動する物体のジャギー(ギザギザ)を低減するとともに、明暗のコントラスト比を強化することで、ゲーマーに最高のゲーム体験を提供します。
- **エコノミー:**このプロファイルでは、明るさとコントラストが調整され、バックライトが微調整されることで、日常的なオフィスアプリケーションに最適な表示を実現します。
- **Dモード:** DICOM第14部GSDF曲線に基づく最適な階調マッピングは微細な色調差を強化し、暗い領域の詳細な可視性を高め、装置間で一貫した信頼性のある視覚性能を提供した。
- **オフ:** SmartImageによる最適化は行われません。

## 3.2 SmartContrast

---

### 1 これは何ですか？

これは表示されているコンテンツを動的に分析し、視覚的な鮮明さと視聴の快適性を最大限に高めるために、モニターのコントラスト比を自動的に最適化する独自の技術です。

### 2 なぜ必要なのですか？

SmartContrast は、あらゆるコンテンツに対して最高の視認性と視聴快適性を提供します。明るいゲーム画面や動画映像に対してコントラストを動的に制御し、バックライトを調整します。さらに、モニターの消費電力を削減することで、電気料金を節約でき、モニターの寿命も延ばすことができます。

### 3 これはどのように機能しますか？

SmartContrast を有効にすると、表示中のコンテンツをリアルタイムで分析し、色調およびバックライトの輝度を調整します。これにより、動画視聴時やゲームプレイ時にコントラストが動的に強化され、より優れたエンターテインメント体験をお楽しみいただけます。

## 4. コンピューター視覚症候群 (CVS) を予防するための設計

Philipsモニターは、長時間のコンピューター使用による眼精疲労を軽減するように設計されています。

以下の指示に従ってPhilipsモニターをご使用いただくことで、効果的に疲労を軽減し、作業効率を最大限に高めてください。

### 1. 適切な環境照明：

- 周囲の照明を画面の明るさに合わせ、蛍光灯の使用を避け、光をあまり反射しない表面を使用してください。
- 明るさおよびコントラストを適切なレベルに調整してください。

### 2. 良好な作業習慣：

- モニターを長時間使用すると目の不快感が生じることがあります。2時間ごとに15分間休憩するよりも、50～60分間の連続使用後に5～10分間の短い休憩を頻繁に取る方が効果的です。
- 長時間画面に集中した後は、さまざまな距離にあるものを見るようにしてください。
- 目をやさしく閉じて眼球を回すことで、リラックスできます。
- 作業中は意識的にこまめにまばたきをしてください。
- 痛みを和らげるために、首を軽く伸ばし、ゆっくりと頭を前後および左右に傾けてください。

### 3. 理想的な作業姿勢

- ご自身の身長に応じて、画面を適切な位置に再設定してください。

### 4. 目にやさしい視聴体験のために、フリリップスモニターをご選択ください。

- ノングレア(反射防止)スクリーン:この機能は、まぶしくて気を散らす反射を効果的に低減し、眼精疲労の一因となる反射を抑えます。
- フリッカーフリー技術は、輝度を調整してちらつきを軽減し、より快適な視聴環境を実現するように設計されています。
- EasyReadモードは、紙に近い読みやすさを提供し、画面上で長文書を扱う際にもより快適な視聴体験をもたらします。

## 5. アダプティブシンク



### Adaptive Sync

PCゲームでは長らく、GPUとモニターが異なるレートで更新されるため、完璧とは言えない体験が続いてきました。場合によっては、GPUがモニターの1回の更新中に複数の新しい画像をレンダリングし、モニターがそれらの画像の一部を1つの画像として表示してしまうことがあります。これを「ティアリング」と呼びます。ゲーマーは「V-Sync」という機能でティアリングを解消できますが、GPUがモニターからの更新要求を待ってから新しい画像を送信するため、映像がカクつくことがあります。

また、V-Syncを使用すると、マウス入力の応答性や全体的なフレームレートも低下します。AMD アダプティブシンク技術は、GPUが新しい画像を準備できた瞬間にモニターを更新できるようにすることで、これらの問題をすべて解消します。その結果、ゲーマーは信じられないほど滑らかでレスポンス、かつティアリングのないゲームプレイを楽しむことができます。

次に、対応するグラフィックカードを示します。

- オペレーティング システム
  - Windows 11/10
- グラフィックカード: R9 290/300シリーズ および R7 260シリーズ
  - AMD Radeon R9 300シリーズ
  - AMD Radeon R9 Fury X
  - AMD Radeon R9 360
  - AMD Radeon R7 360
  - AMD Radeon R9 295X2
  - AMD Radeon R9 290X

- AMD Radeon R9 290
- AMD Radeon R9 285
- AMD Radeon R7 260X
- AMD Radeon R7 260
- Aシリーズ デスクトップおよびモビリティ向けAPUプロセッサ
  - AMD A10-7890K
  - AMD A10-7870K
  - AMD A10-7850K
  - AMD A10-7800
  - AMD A10-7700K
  - AMD A8-7670K
  - AMD A8-7650K
  - AMD A8-7600
  - AMD A6-7400K
  - AMD RX 6500 XT
  - AMD RX 6600 XT
  - AMD RX 6700 XT
  - AMD RX 6750 XT
  - AMD RX 6800
  - AMD RX 6800 XT
  - AMD RX 6900 XT

## 6. 技術仕様

画像／表示（1画面あたり）	
ディスプレイパネルタイプ	IPS テクノロジー
バックライト	W-LED
パネルサイズ	23.8" W (60.5 cm) デュアルサイドスクリーン
アスペクト比	16:9
ピクセルピッチ	0.2745(H) mm × 0.2745(V) mm
コントラスト比（標準）	1500:1
ネイティブ解像度	1920 x 1080 @ 60 Hz
最大解像度	1920 x 1080 @ 120 Hz
視野角	178° (H) / 178° (V) @ C/R > 10（標準）
ピクチャー・エンハンスメント	SmartImage
ディスプレイカラー	1670 万色（6bit + FRC）
垂直リフレッシュレート	48 Hz ~ 120 Hz
水平周波数	30 kHz ~ 140 kHz
sRGB	はい
SoftBlue テクノロジー	はい <sup>1</sup>
EasyRead	はい
フリッカーフリー	はい
アダプティブシンク	はい
無線ファームウェアアップデート	はい
接続	
信号入力ソース	HDMI、USB-C（DP Alt モード）
コネクタ	HDMI 1.4 × 2（HDCP 1.4、HDCP 2.3 対応） USB-C × 2（アップストリーム、HDCP 1.4、HDCP 2.3 対応） USB-A × 4（ダウンストリーム、うち 2 ポートは BC 1.2 準拠の高速充電対応） オーディオ出力 × 2
同期入力	セパレート同期
USB	
USB ポート	USB-C × 2（アップストリーム、Power Delivery（電源供給）65W 標準、DP Alt モード対応） USB-A × 4（ダウンストリーム、うち 2 ポートは高速充電 BC1.2 対応）
Power Delivery（電源供給）	USB-C1：USB Power Delivery バージョン 3.0、標準 65W（5V/3A、7V/3A、9V/3A、10V/3A、12V/3A、15V/3A） USB-C2：USB Power Delivery バージョン 3.0、標準 65W（5V/3A、7V/3A、9V/3A、10V/3A、12V/3A、15V/3A） USB-A：2 ポートは高速充電 BC1.2 対応、最大 7.5W（5V/1.5A）
USB SuperSpeed	USB-C/USB-A: USB 3.2 Gen1、5 Gbps

利便性	
内蔵スピーカー	3 W × 2
マルチビュー	PIP/PBP モード、2 台のデバイス対応
OSD 言語	英語、ドイツ語、スペイン語、ギリシャ語、フランス語、イタリア語、ハンガリー語、オランダ語、ポルトガル語、ブラジルポルトガル語、ポーランド語、ロシア語、スウェーデン語、フィンランド語、トルコ語、チェコ語、ウクライナ語、簡体字中国語、繁体字中国語、日本語、韓国語
その他の利便性	VESA マウント (100 × 100 mm)、ケンジントンロック
プラグ&プレイ互換性	DDC/CI、Mac OS X、sRGB、Windows 11/10
スタンド	
スイベル	- 180° / + 180°

電源			
消費電力	AC 入力電圧：100 VAC、50 Hz	AC 入力電圧：115 VAC、60 Hz	AC 入力電圧：230 VAC、50 Hz
通常動作	36.4 W (定格)	36.4 W (定格)	36.4 W (定格)
スリープ (スタンバイモード)	0.5 W (定格)	0.5 W (定格)	0.5 W (定格)
オフモード	0.3 W (定格)	0.3 W (定格)	0.3 W (定格)
消費電力	AC 入力電圧：100 VAC、50 Hz	AC 入力電圧：115 VAC、60 Hz	AC 入力電圧：230 VAC、50 Hz
通常動作	124.23 BTU/hr (定格)	124.23 BTU/hr (定格)	124.23 BTU/hr (定格)
スリープ (スタンバイモード)	1.71 BTU/hr (定格)	1.71 BTU/hr (定格)	1.71 BTU/hr (定格)
オフモード	1.02 BTU/hr (定格)	1.02 BTU/hr (定格)	1.02 BTU/hr (定格)
オンモード (ECO モード)	19.8 W (定格)		
電源 LED ランプ	オンモード：白色、スタンバイ/スリープモード：白色(点滅)		
電源	外部式、AC 100 ~ 240 V、50/60 Hz		

寸法	
スタンドなし本体寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)	541 × 413 × 127 mm
包装時本体寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)	650 × 507 × 186 mm

重量	
スタンド未装着時本体	5.32 kg
包装時本体	8.78 kg

使用条件	
動作温度範囲	0 ° C ~ 40 ° C
相対湿度 (動作時)	20 % ~ 80 %
大気圧 (動作時)	700 ~ 1060 hPa
温度範囲 (非動作時)	-20 ° C ~ 60 ° C

相対湿度 (非動作時)	10% ~ 90%
大気圧 (非動作時)	500 ~ 1060 hPa
<b>環境および省エネルギー</b>	
RoHS	はい
包装	100% リサイクル可能
特定物質	筐体は 100% PVC・BFR フリー
<b>筐体</b>	
Color(カラー)	ブラック
仕上げ	テクスチャー

<sup>1</sup> 本モニターは SoftBlue(ソフトブルー)テクノロジーを搭載しています。この内蔵機能により、ブルーライトへの長時間の暴露によって引き起こされる健康への悪影響から保護し、視覚的快適性を高めます。ローブルーライトパネルにより、ディスプレイが発する 400 ~ 500 nm の光のうち、415 ~ 455 nm の範囲の光の割合が 50% 未満となります。これにより、本モニターは最適な視覚的快適性を提供し、目の疲れを最小限に抑え、集中力を持続させるサポートを行います。さらに、SoftBlue LED テクノロジーは、ブルーライトの低減効果について TÜV Rheinland Low Blue Light(ハードウェアソリューション) 認証を取得しています。


#### 注

1. 本データは予告なく変更されることがあります。最新版のリーフレットをダウンロードするには、[www.philips.com/support](http://www.philips.com/support) にアクセスしてください。
2. Power Delivery (電源供給) 機能は、接続するPCの仕様にも依存します。
3. IDラベルはスタンドベースに記載されています。

## 6.1 解像度およびプリセットモード

水平周波数 (kHz)	解像度	垂直周波数 (Hz)
31.47	720x400	70.09
31.47	640x480	59.94
35.00	640x480	66.67
37.86	640x480	72.81
37.50	640x480	75.00
35.16	800x600	56.25
37.88	800x600	60.32
48.08	800x600	72.19
46.88	800x600	75.00
47.73	832x624	74.55
67.50	960x1080 PBP モード	60.00
83.92	960x1080 PBP モード	75.00
48.36	1024x768	60.00
56.48	1024x768	70.07
60.02	1024x768	75.03
44.77	1280x720	59.86
63.89	1280x1024	60.02
79.98	1280x1024	75.03
55.94	1440x900	59.89
65.29	1680x1050	59.95
89.48	1720x1440	59.97
67.50	1920x1080	60.00
83.92	1920x1080	75.00
110.00	1920x1080	100.00
137.28	1920x1080	120.00

## 注

- ご注意ください。本ディスプレイはネイティブ解像度 1920 × 1080 @ 60Hz で最適に動作します。最高の表示品質を得るため、この解像度設定をご使用ください。推奨解像度 (HDMI 1.4 / USB-C) : 1920 × 1080 @ 60Hz。USB-C 接続時にディスプレイがネイティブ解像度になっていない場合は PC 側で解像度を最適な状態 (1920 × 1080 @ 60Hz) に調整してください。
- 工場出荷時の HDMI デフォルト設定は、解像度 1920 × 1080 @ 60Hz をサポートしています。
- 本モニターの USB-C 入力における USB ハブのデフォルト設定は「High Data Speed」です。サポートされる最大解像度は、お使いのグラフィックカードの性能によって異なります。お使いの PC が HBR 3 をサポートしていない場合は、USB 設定で「High Resolution」を選択してください。これにより、サポートされる最大解像度は 1920 × 1080 @ 120Hz となります。操作手順：  
 ボタン > USB 設定 > USB > High Resolution

## 7. 電源管理

お使いの PC に VESA DPM 準拠のディスプレイカードまたはソフトウェアがインストールされている場合、モニターは使用されていないときに自動的に消費電力を削減します。キーボード、マウス、その他の入力デバイスからの入力が検出されると、モニターは自動的に「ウェイクアップ」します。下記の表は、この自動電源節約機能における消費電力と信号状態を示しています。

電源管理の定義					
VESA モード	ビデオ	H 同期	V 同期	消費電力	LED 色
アクティブ	オン	はい	はい	36.4 W (定格) 225.2 W (最大)	白
スリープ (スタンバイモード)	オフ	No (いいえ)	No (いいえ)	0.5 W (標準)	白 (点滅)
オフモード	オフ	-	-	0.3 W (標準値)	オフ

本ディスプレイの消費電力測定には、以下の設定を使用しています。

- ネイティブ解像度: 1920 x 1080
- コントラスト: 50%
- 輝度: 80%
- 色温度: 6500K (フルホワイトパターン使用時)
- オーディオおよびUSBは非アクティブ (オフ)

### 注

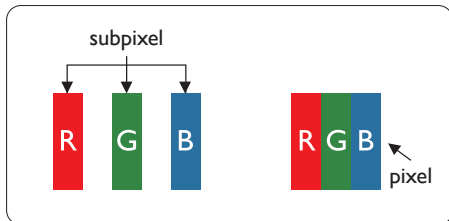
本データは、事前の通知なしに変更されることがあります。

## 8. カスタマーケアおよび保証

### 8.1 フィリップス フラットパネルディスプレイ画素欠陥ポリシー

フィリップスは最高品質の製品を提供することを常に目指しています。当社では業界で最も先進的な製造プロセスの一部を採用し、厳格な品質管理を実施しています。しかしながら、フラットパネルディスプレイに使用される TFT モニターパネルにおいて、画素またはサブ画素の欠陥が生じることは場合によっては避けられないことがあります。

メーカーとしてすべてのパネルが完全に画素欠陥ゼロであることを保証することはできませんが、フィリップス モニターでは、許容範囲を超える数の欠陥があるモニターについては、保証に基づき修理および／または交換を保証いたします。本通知では、さまざまなタイプの画素欠陥について説明し、各タイプごとの許容欠陥レベルを定義しています。保証による修理または交換の対象となるためには、TFT モニターパネル上の画素欠陥数がこれらの許容レベルを超えていなければなりません。例えば、モニター上のサブ画素のうち、欠陥のあるものは 0.0004% を超えてはなりません。さらに、フィリップスでは、特に目立ちやすい特定のタイプまたは組み合わせの画素欠陥に対しては、より厳しい品質基準を設けています。本ポリシーは世界中で有効です。



ピクセルおよびサブピクセル

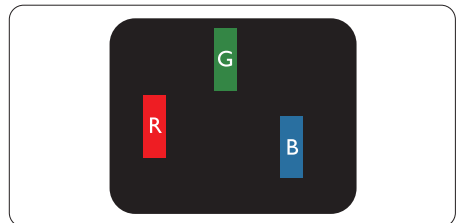
ピクセル（画素）は、赤、緑、青の三原色からなる 3 つのサブピクセルで構成されています。多数のピクセルが集まって画像を形成します。ピクセル内のすべてのサブピクセルが点灯している場合、これら 3 色のサブピクセルは合わせて 1 つの白色ピクセルとして見えます。すべてが消灯している場合は、合わせて 1 つの黒色ピクセルとして見えます。その他の点灯・消灯の組み合わせにより、他の色の単一ピクセルとして表示されます。

#### ピクセル欠陥の種類

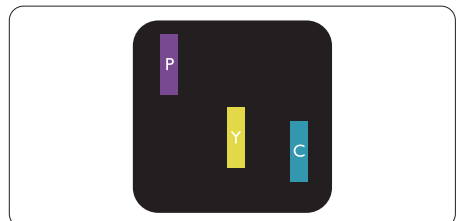
ピクセルおよびサブピクセルの欠陥は、画面上にさまざまな形で現れます。ピクセル欠陥には 2 つのカテゴリがあり、各カテゴリには複数のサブピクセル欠陥のタイプがあります。

#### 明るいドット欠陥

明るいドット欠陥は、常に点灯（「オン」）状態にあるピクセルまたはサブピクセルとして現れます。つまり、モニターが暗いパターンを表示している際に目立つサブピクセルが明るいドットです。明るいドット欠陥には以下の 3 つのタイプがあります：赤、緑、または青のいずれか 1 つのサブピクセルが点灯している状態。

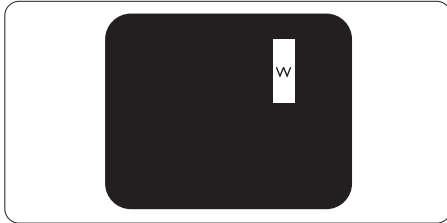


赤、緑、または青のサブピクセルが 1 点点灯している状態です。



隣接する2つの点灯サブピクセル：

- 赤+青=紫
- 赤+緑=黄
- 緑+青=シアン（水色）



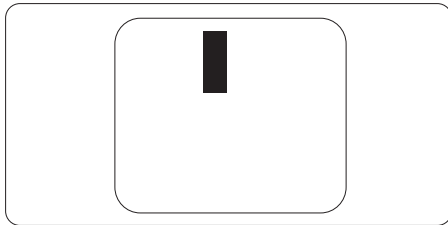
隣接する3つの点灯サブピクセル（白ピクセル1点）。

注

赤または明るい青のドットは周囲のドットよりも50%以上明るく、明るい緑のドットは周囲のドットよりも30%明るくなければなりません。

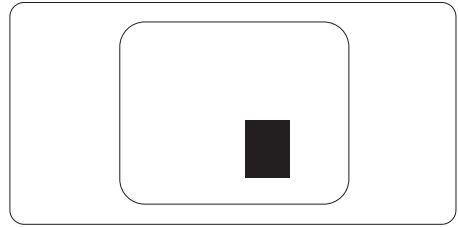
黒ドット欠陥

黒ドット欠陥は、常に暗いか「オフ」状態のピクセルまたはサブピクセルとして現れます。つまり、モニターが明るいパターンを表示している際に、画面に目立つ暗いドットが存在することを意味します。以下は黒ドット欠陥の種類です。



画素欠陥の許容範囲

同一タイプのピクセルおよびサブピクセル欠陥が互いに近接していると目立ちやすくなるため、フィリップスでは画素欠陥の近接に関する許容範囲も定めています。



画素欠陥の許容範囲

保証期間中に画素欠陥に基づき修理または交換を受けるには、フィリップスのフラットパネルモニターに搭載された TFT モニターパネルが、以下の表に示す画素欠陥の許容範囲を超えるピクセルまたはサブピクセル欠陥を有している必要があります。

明るいドット欠陥	受け入れられるレベル
点灯サブピクセル 1 個	2
隣接する点灯サブピクセル 2 個	1
隣接する点灯サブピクセル 3 個 (白色画素 1 個相当)	0
明るいドット欠陥同士の距離 *	>15mm
明るいドット欠陥の全種類合計数	2
黒いドット欠陥	受け入れられるレベル
非点灯サブピクセル 1 個	3 個以下
隣接する非点灯サブピクセル 2 個	2 個以下
隣接する非点灯サブピクセル 3 個	1
黒いドット欠陥同士の距離 *	>15mm
黒いドット欠陥の全種類合計数	3 個以下
ドット欠陥総数	受け入れられるレベル
明るいまたは黒いドット欠陥の全種類合計数	5 個以下

注

隣接するサブピクセル欠陥が 1 個または 2 個＝ドット欠陥 1 個

## 8.2 カスタマーケアおよび保証

お客様の地域で適用される保証範囲および追加サポート要件については、詳細を [www.philips.com/support](http://www.philips.com/support) ウェブサイトでご確認いただくか、お近くのフィリップス カスタマーケアセンターまでお問い合わせください。

保証期間については、「重要なお知らせ」マニュアルに記載されている保証規定をご参照ください。

標準保証期間を延長されたい場合は、当社認定サービスセンターを通じて、保証期間終了後のサービスパッケージをご利用いただけます。

このサービスをご利用になる場合は、初回購入日から 30 日以内に必ずサービスをお申し込みください。延長保証期間中は、集荷・修理・返送サービスが含まれますが、発生するすべての費用はお客様のご負担となります。

認定サービスパートナーが提供された延長保証パッケージに基づく必要な修理を実施できない場合、可能な限り、お客様がご購入された延長保証期間内において代替手段をご提案いたします。

詳細については、フィリップス カスタマーサービス担当または現地のコンタクトセンター（コンシューマーケア番号）にお問い合わせください。

以下に記載のフィリップス カスタマーケアセンター番号。

• 地域標準保証期間	• 延長保証期間	• 総保証期間
• 地域により異なります	• +1 年	• 地域標準保証期間 + 1 年
	• +2 年	• 地域標準保証期間 + 2 年
	• +3 年	• 地域標準保証期間 + 3 年

\*\* 購入時の領収書および延長保証の購入証明書が必要です。

### 注

地域のサービスホットラインについては、「重要情報」マニュアルをご参照ください。該当マニュアルはフィリップス公式ウェブサイトのサポートページでご覧いただけます。

## 9. トラブルシューティング & FAQ

### 9.1 トラブルシューティング

本ページでは、ユーザーがご自身で修正可能な問題を取り扱っています。ここで示す解決策を試しても問題が解消しない場合は、フィリップスカスタマーサービス担当までご連絡ください。

#### 1 一般的な問題

画面なし(電源 LED ランプが点灯していません)

- 電源コードが電源コンセントおよびモニター背面に確実に接続されていることをご確認ください。
- まず、ディスプレイ前面の電源ボタンが「OFF」の位置にあることを確認し、その後「ON」の位置にしてください。

画面なし(電源 LED ランプが白色)

- コンピューターの電源が入っていることをご確認ください。
- 信号ケーブルがコンピューターに正しく接続されていることをご確認ください。
- モニターケーブルの接続側にピンの曲がりがないかご確認ください。曲がっている場合は、ケーブルを修理または交換してください。
- 省エネ機能が有効になっている可能性があります。画面に次のように表示されます。



Check cable connection

- ディスプレイケーブルがコンピューターに正しく接続されていることをご確認ください。(クイックスタートガイドもご参照ください。)
- ディスプレイケーブルのピンが曲がっていないかご確認ください。

- コンピューターの電源が入っていることをご確認ください。

煙または火花が見える

- トラブルシューティング手順を実行しないでください。
- 安全のため、ただちにモニターの電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ただちにフィリップスのカスタマーサービス担当者にお問い合わせください。

#### 2 画像に関する問題

画像がぼんやりしている、不明瞭である、または暗すぎます。

- オンスクリーンディスプレイでコントラストと明るさを調整してください。

電源を切った後も「残像」「バーンイン」または「ゴースト画像」が残ることがあります。

- 長時間にわたり静止画や静的な画像を表示し続けると、画面に「バーンイン」「残像」または「ゴースト画像」とも呼ばれます)が発生する可能性があります。「バーンイン」「残像」、または「ゴースト画像」は、液晶パネル技術においてよく知られた現象です。ほとんどの場合、電源を切った後、しばらく時間が経過するとこれらの現象は徐々に消失します。
- ディスプレイから離れて使用しない際には、必ず動作するスクリーンセーバーを起動してください。
- LCDディスプレイに変化のない静的コンテンツを表示する場合は、必ず定期的に画面を更新するアプリケーションを起動してください。
- スクリーンセーバーや定期的な画面更新アプリケーションを起動しない場合、消えない深刻な「バーンイン」「残像」、または「ゴースト画像」が発生し、修復できなくなるおそれがあります。上記の損傷は保証の対象外です。

画像が歪んで表示される、またはテキストがぼんやりしたりにじんだりします。

- PCのディスプレイ解像度を、モニターの推奨ネイティブ解像度と同一のモードに設定してください。

画面上に緑、赤、青、黒、および白のドットが表示されます。

- これらのドットは、現行技術で使用されている液晶パネルの正常な特性です。詳細については、ピクセルポリシーをご参照ください。

\*「電源オンランプが明るすぎて気になります。

- 「電源オン」ランプは、OSDメインコントロール内の電源LED設定で調整できません。

さらにサポートが必要な場合は、『重要情報マニュアル』に記載されているサービス連絡先をご確認のうえ、フィリップスのカスタマーサービス担当者にお問い合わせください。

\* 機能はディスプレイによって異なります。

## 9.2 よくあるご質問 (FAQ)

---

Q1: ディスプレイを設置した際に「このビデオモードは表示できません」と表示された場合は、どのように対処すればよいですか？

Ans.: 本ディスプレイの推奨解像度: 1920 × 1080。

- すべてのケーブルを抜き、以前使用していたディスプレイにPCを接続してください。
- Windowsのスタートメニューで、「設定」または「コントロールパネル」を選択してください。コントロールパネルウィンドウで「ディスプレイ」アイコンを選択します。「ディスプレイ」コントロールパネル内で「設定」タブをクリックし、「デスクトップ領域」と表示されたボックス内のスライダーを1920×1080ピクセルに調整してください。
- 「詳細設定」を開き、リフレッシュレートを60 Hzに設定してから、「OK」をクリックしてください。
- コンピューターを再起動し、手順2および3を繰り返して、PCが1920×1080に設定されていることを確認してください。
- コンピューターの電源を切り、古いモニターの接続を外し、Philips LCDモニターを接続してください。
- ディスプレイの電源を入れてから、PCの電源を入れてください。

Q2: LCDモニターの推奨リフレッシュレートはどれですか？

答: LCDモニターの推奨リフレッシュレートは60 Hzです。画面にちらつきやその他の乱れが生じた場合は、75 Hzまで設定を上げて、症状が改善するかどうかをご確認ください。

Q3: .inf ファイルおよび .icm ファイルとは何ですか? ドライバー (.inf および .icm ファイル) をインストールするにはどうすればよいですか?

答: これらはモニター用のドライバーファイルです。モニターを初めて接続した際に、お使いのコンピューターがモニタードライバー (.inf および .icm ファイル) を要求することがあります。取扱説明書の手順に従ってください。これにより、モニタードライバー (.inf および .icm ファイル) が自動的にインストールされます。

Q4: 解像度を調整するにはどうすればよいですか?

答: 利用可能な解像度は、お使いのビデオカード/グラフィックドライバーとディスプレイによって決まります。Windows® のコントロールパネルにある [ディスプレイのプロパティ] から希望の解像度を選択できます。

Q5: OSD を使ってディスプレイ設定を行っている途中で操作がわからなくなった場合はどうすればよいですか?

答: ➡ ボタンを押して [リセット] を選択すると、すべての設定が工場出荷時の状態に戻ります。

Q6: 液晶画面は傷に強いですか?

答: 一般的に、パネル表面には過度な衝撃を加えず、鋭利なものや鈍器から保護することをお勧めします。ディスプレイを取り扱う際は、パネル表面側に圧力や力を加えないでください。これを守らない場合、保証条件に影響するおそれがあります。

Q7: 液晶画面の清掃方法を教えてください。

答: 通常の清掃には、清潔で柔らかい布をご使用ください。より徹底的な清掃を行う場合は、イソプロピルアルコールをご使用ください。エチルアルコール、エタノール、アセトン、ヘキサンなどの他の溶剤は使用しないでください。

Q8: モニターの色設定を変更できますか?

答: はい、以下の手順に従って OSD コントロールから色設定を変更できます。

- OSD (オンスクリーンディスプレイ) メニューを表示するには、➡ ボタンを押してください。
- [Color] オプションを選択するには ↓ ボタンを押して、次に色設定に入るには ➡ ボタンを押してください。以下の3つの設定があります。
  1. 色温度: 設定は以下のとおりです。ネイティブ、5000K、6500K、7500K、8200K、9300K、および 11500K。5000K 付近の設定ではパネルは「赤みを帯びた暖かい白色調」に見え、一方 11500K の色温度では「青みを帯びた冷たい白色調」となります。
  2. sRGB: これは、異なる機器 (デジタルカメラ、モニター、プリンター、スキャナーなど) 間で色を正確に交換するための標準設定です。
  3. ユーザー定義: ユーザーは赤、緑、青の各色を調整して、ご自身の好みの色設定を選択できます。

### 注

これは、物体が加熱されている際に放射する光の色を測定する尺度です。この測定値は絶対温度 (ケルビン度) で表されます。2004K などの低いケルビン温度では赤みがかかり、9300K などの高い温度では青みがかかります。中間的な白色は 6504K で得られます。

Q9: LCD モニターを任意の PC、ワークステーション、または Mac に接続できますか?

答: はい。すべての Philips LCD モニターは、標準的な PC、Mac、およびワークステーションと完全互換です。Mac システムにモニターを接続する際には、ケーブルアダプターが必要な場合があります。詳細については、Philips の営業担当者にお問い合わせください。

Q10: Philips LCDディスプレイはプラグアンドプレイに対応していますか？

答: はい。これらのディスプレイはWindows 11/10でプラグアンドプレイに対応しています。

Q11: LCDパネルにおける「イメージステッキング」、「イメージバーンイン」、「残像」、または「ゴーストイメージ」とは何ですか？

答: 長時間にわたり静止画像や固定画像を表示し続けると、画面に「バーンイン」(焼き付き)、すなわち「残像」または「ゴーストイメージ」と呼ばれる現象が発生することがあります。「バーンイン」、「残像」、または「ゴーストイメージ」は、LCDパネル技術において広く知られた現象です。ほとんどの場合、電源を切った後、一定期間経過するとこれらの現象は徐々に消えていきます。

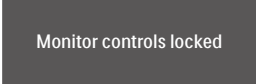
ディスプレイから離れて使用しない際は、必ず動作するスクリーンセーバーを起動してください。

LCDディスプレイに変化のない静的コンテンツを表示する場合は、必ず定期的に画面を更新するアプリケーションを起動してください。

答: ホットキーのロック／アンロックを行うには、**↓**を10秒間押し続けてください。これにより、ディスプレイに「Attention (注意)」と表示され、下図のようにロック／アンロック状態が示されます。



Monitor controls unlocked



Monitor controls locked

Q14: EDFUに記載されている「重要情報マニュアル」はどこで入手できますか？

答: 重要な情報が記載された取扱説明書は、フィリップスのウェブサイトサポートページからダウンロードできます。

#### 警告

スクリーンセーバーや定期的な画面リフレッシュ機能を有効にしない場合、深刻な「バーンイン」や「残像」「ゴーストイメージ」が発生するおそれがあります。これらの現象は消去できず、修理もできません。上記の損傷は保証の対象外です。

Q12: ディ스플레이の文字が鮮明に表示されず、ギザギザしているのはなぜですか？

答: このLCDモニターはネイティブ解像度1920×1080で最も良好に動作します。最適な表示を得るには、この解像度をご使用ください。

Q13: ホットキーのロック／アンロック方法を教えてください。

### 9.3 マルチビューに関するよくあるご質問

---

- Q1: PIPサブウィンドウを拡大できますか？
- 答: はい、[小],[中],[大]の3つのサイズから選択できます。➡を押して OSD メニューに入り、[PIP / PBP] メインメニューから希望の [PIP サイズ] オプションを選択してください。
- Q2: 映像とは独立して音声を聴くにはどうすればよいですか？
- 答: 通常、音声ソースはメイン映像ソースに連動しています。音声ソースを変更したい場合は、➡を押して OSD メニューに入り、[音声] メインメニューから希望の [音声ソース] オプションを選択してください。次回ディスプレイの電源を入れた際には、前回選択した音声ソースがデフォルトで選ばれます。再度変更したい場合は、上記の手順に従って新しい音声ソースを選択してください。その選択が次回以降の「デフォルト」モードとなります。
- Q3: PIP/PBP を有効にしたときにサブウィンドウがちらつくのはなぜですか？
- 答: サブウィンドウの映像信号ソースがインターレースタイミング (i-timing) であるためです。サブウィンドウの信号ソースをプログレッシブタイミング (P-timing) に変更してください。



2025 © TOP Victory Investments Ltd. All rights reserved.

本製品はTop Victory Investments Ltd.によって製造され、同社の責任において販売されています。また、本製品に関する保証責任者はTop Victory Investments Ltd.です。PhilipsおよびPhilips Shield EmblemはKoninklijke Philips N.V.の登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

仕様は、事前の通知なしに変更することがあります。